

地域医療 研修カリキュラム

- 必修：下記のいずれかの施設で研修を行う。

施設名	所在地	連絡先
尾鷲総合病院	尾鷲市上野町 5 番 25 号	0597-22-3111
飯山赤十字病院	長野県飯山市大字飯山 226-1	0269-62-4195

研修時期：2年次

期 間：4週間

- 選択

施設名	所在地	連絡先	基本的な期間
尾鷲総合病院	尾鷲市上野町 5 番 25 号	0597-22-3111	4週間
飯山赤十字病院	長野県飯山市大字飯山 226-1	0269-62-4195	4週間
紀南病院	南牟婁郡御浜町大字阿田和 4750	059792-1333	4週間
鳥羽市立神島診療所	鳥羽市神島町 85-2	0599-38-2033	2日間

※期間は相談の上、変更可能である。

A. 一般目標

地域医療の特性および地域包括ケアの概念と枠組みを理解し、医療・介護・保健・福祉にかかわる種々の施設や組織と連携できる。また、地域の中で保健・医療・福祉の連携を図って患者を支え、地域に根ざした医療の姿を体験することで、地域保健・医療を必要とする患者とその家族に対して全人的に対応できる能力を身につける。

- 1) 患者が営む日常生活や居住する地域の特性に即した医療(在宅医療を含む)について理解し、実践する。
- 2) 診療所の役割(病診連携への理解を含む)について理解し、実践する。
- 3) へき地・離島医療について理解し、実践する。

B. 行動目標

1. 患者の認知能力や行動能力を理解し、患者の尊厳に配慮した適切な対応ができる
2. 患者の状況に応じた的確な問診、理学所見の収集ができる
3. 系統的な診察所見をもとに必要な検査を選択・結果を解釈できる
4. 治療方針の概略を立案できる
5. 患者・家族に、病状や治療方針を説明し、治療方針の同意を得ることができる
6. 患者が営む日常生活や居住する地域の特性を考慮した医療が実践できる(在宅医療を含む)
7. 個々の患者・家族の QOL 及び生活を考慮した適切な指示、指導ができる
8. 訪問診察の場合に必要な診療技術を習得する(一般家庭内での効果的な診察法や家族との接し方など)
9. 一般外来および在宅医療で修得した技術が安全に確実に実施できる

10. 経験すべき症候・疾病・病態

1) 経験すべき症候

外来または病棟において、下記の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、基本的な検査所見に基づく臨床推論と病態を考慮した初期対応を行う

- a. ショック
- b. 体重減少・るい瘦
- c. 発疹
- d. 黄疸
- e. 発熱
- f. もの忘れ
- g. 頭痛
- h. めまい
- i. 意識障害・失神
- j. けいれん発作
- k. 視力障害
- l. 胸痛
- m. 心停止
- n. 呼吸困難
- o. 吐血・喀血
- p. 下血・血便
- q. 嘔気・嘔吐
- r. 腹痛
- s. 便通異常
- t. 熱傷・外傷
- u. 腰・背部痛
- v. 関節痛
- w. 運動麻痺・筋力低下
- x. 排尿障害
- y. 終末期の症候

2) 経験すべき疾病・病態

外来または病棟において、下記の疾病・病態を有する患者の診療を行う。

- a. 脳血管障害
- b. 認知症
- c. 急性冠症候群
- d. 心不全
- e. 大動脈瘤
- f. 高血圧
- g. 肺がん
- h. 肺炎
- i. 急性上気道炎
- j. 気管支喘息

- k. 慢性閉塞性肺疾患
- l. 急性胃腸炎
- m. 胃がん
- n. 消化性潰瘍
- o. 肝炎・肝硬変
- p. 胆石症
- q. 大腸がん
- r. 腎盂腎炎
- s. 尿路結石
- t. 腎不全
- u. 高エネルギー外傷・骨折
- v. 糖尿病
- w. 脂質異常症

C. 指導体制

1. 各施設の指導責任者は、ローテーション期間を通して研修の責任を負う
2. 患者の診察、検査、治療に関する直接的指導は主治医(指導医)が行う。
3. 定期的に研修医の研修目標達成の進捗具合を点検し、適切に研修医に指示を与えるか直接指導を行う。

D. 研修方略

1. 指導医・上級医とともに患者の診療に携わる。(詳細は各施設の研修内容・方法を参照)
 - *尾鷲総合病院では、入院および**一般外来**、手術、救急外来での診療に携わるとともに、診療所での診療(**在宅医療**含む)を経験する
 - *飯山赤十字病院では、**一般外来**、救急外来での診療に携わるとともに、**訪問診療**、へき地診療所を経験する
 2. 各施設で行われるカンファレンス・勉強会には積極的に参加すること
 3. 地域を知るために、地域で開催されるイベントの他、地域との人々と積極的にかかわる時間をもつようにする
- ※詳細は各施設の項参照

E.. 研修評価チェックリスト

- 患者の認知能力や行動能力を理解し、患者の尊厳に配慮した適切な対応ができる
- 患者の状況に応じた的確な問診、理学所見の収集ができる
- 系統的な診察所見をもとに必要な検査を選択・結果を解釈できる
- 治療方針の概略を立案できる
- 患者・家族に、病状や治療方針を説明し、治療方針の同意を得ることができる
- 患者が営む日常生活や居住する地域の特性を考慮した医療が実践できる(在宅医療を含む)
- 個々の患者・家族の QOL 及び生活を考慮した適切な指示、指導ができる
- 訪問診療の場合に必要な診療技術を習得する(一般家庭内での効果的な診察法や家族との接し方など)
- 一般外来および在宅医療で修得した技術が安全に確実に実施できる

尾鷲総合病院

三重県尾鷲市上野町 5 番 25 号(電話:0597-22-3111)

院長、臨床研修プログラム責任者:小藪助成

〔尾鷲総合病院の特徴と取り組み〕

該当する医療圏には一般病床を有する病院が当院しかないため非常に地域と密接しており、患者のインフォームド・コンセントや地域の開業医との病診連携も重視しています。

当院では 24 のチームを有し、各チームは他職種で編成し、医療・サービス・知識の向上に取り組んでいます。その中でも NST(栄養サポートチーム)は院内の治療のみならず、療養には栄養管理は欠かせないことや医食同源の大切さを知っていただくために院内で他の医療関係者や福祉施設従事者などを対象にしたフォーラムの開催や、市内の施設にも出張講演に出かけています。

生活習慣病チームにおいては近年クローズアップされているメタボリックシンドロームの対策と解消の講演会を地元の尾鷲市や紀北町に出かけ、住民に講演を行っています。

更に尾鷲市が主催の健康祭りに医師・薬剤師・管理栄養士・臨床検査技師・看護師がスタッフとして参加し市民の健康管理も行っています。

1. 研修施設

尾鷲総合病院、診療所

2. 研修期間 : 4 週間

3. 研修時間 : 8:30~17:15

4. 研修方略

1) 尾鷲総合病院の地域研修は1週間ずつで内科・外科・福祉(メディカルソーシャルワーカー)・協力開業医診療を予定しています。

■ 内科では外来診療、救急診療、入院患者管理、透析患者管理等の研修を行います。最近内科診療でも臓器別になる傾向がありますが、一人の患者全体を担当することにより全人的医療を実践することを学びます。

■ 外科では主に救急診療、入院患者管理、手術の助手などを指導医・研修協力医の下で研修を行います。特に救急診療では急性腹症の診断手順や手術適応について、入院患者では術前検査や画像診断などについて学ぶことができます。

■ 福祉部門ではメディカルソーシャルワーカーと共に患者の今後の生活支援の手段を考え問題解決の方法を学ぶことができます。

■ 医師会の中で協力していただく開業医の先生と外来診療、訪問診療、加えて介護保険審査会の見学等、地域医療の現場を体験ができます。

2) 尾鷲総合病院は紀北地区の一次から二次救急に 365 日対応しており、豊富な救急医療と地域医療を体験することができます。

〔研究会等〕

曜日	研修会等
3ヶ月に1回 第2水曜日	紀北医師会カンファレンス
毎月第3木曜日	紀北医師会講演会
隔月第2木曜日	紀北紀南外科症例検討会

〔スケジュール〕

曜日 週	月	火	水	木	金
第1週	外科を中心とした外来、病棟、手術等				
第2週	内科関係の診療所・外科関係の診療所 MSWとともに病診連携・福祉事業所との連携業務				
第3・4週	内科を中心とした外来、病棟、処置、透析等				
その他		最終週・ 研修会	第2週・医局会 と紀北医師会カ ンファレンス	第2週・紀北紀 南外科症例検 討会 第3週・講演会	
	月4回程度の宿日直勤務(平日:宿直2回、休日:日-宿直1回)				

* 休日の日-宿直は、2回とカウントする

* 宿日直手当は、2回分は尾鷲総合病院が負担する

5. その他

1) 宿泊施設

病院宿舎を利用させていただきます(利用料 無料)

2) 事前連絡

研修開始1週間前までに、来院日時の予定や質問などを下記まで電話かメールにて連絡して下さい。

3) 研修当日

午前8時に総務課(外来棟4F)にお越し下さい。

〔お問い合わせ・連絡先〕

尾鷲総合病院 総務課 徳井良成

電話:0597-22-3111

メール:owasehp@crocus.ocn.ne.jp

飯山赤十字病院

〒389-2295 長野県飯山市大字飯山 226-1

地域医療研修プログラム責任者

院長 石坂 克彦

1. 研修施設

飯山赤十字病院、飯山赤十字訪問看護ステーション

へき地診療所(野沢温泉村市川診療所)

2. 研修期間

4 週間

3. 研修時間

8:30～17:15

4. 指導医：古川 賢一、山谷 秀喜、藤本 和法

5. 経験目標

地域保健・医療を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応する力を身につけるために

- 1) 在宅医療、当院においては多職種訪問チームによる在宅医療の現場を経験する。
- 2) 在宅ターミナルケアの現場を経験し、臨終の立ち合いを経験する。
- 3) へき地における医療事情・役割を理解し、診療する。
- 4) 介護保険下で老人保健、老人福祉を理解し、各施設のスタッフ、指導医とともに介護を実践する。
- 5) 一般内科外来での初診患者の診療を行う。
- 6) 救急外来で救急患者の診療を行う。

【施設の紹介】

飯山市は長野県北部、新潟県境の近くに位置していますが、四季を通じて豊かな自然があり、近隣には戸狩温泉・斑尾高原・野沢温泉・木島平・栄村などのリゾートを控える恵まれた環境にあります。当院の主な医療圏は飯山市・下高井郡・下水内郡ですが、この地域はわが国有数の長寿県である長野県の中でもさらに高齢化が進んだ地域であり、遠方まで出かけられない高齢者が多く受診されます。このような事情から、当院は地域に根ざした診療を行い、治療がなるべく当院で完結することを目指しています。

当院では医療社会事業部、訪問看護ステーションによる訪問診療・看護(在宅ターミナルケアを含む)・リハビリテーションを行っており、社会福祉施設、介護老人保健施設等との連携も密接であることから、地域保健・医療に充実した研修が期待できます。

当院では訪問診療・訪問看護を中心とした地域医療を学んでいただきます。また、一般内科外来初診患者、救急外来での研修も経験できます。その結果、プライマリ・ケアについての理解も進むことが期待されます。

当院の多職種訪問チームによる訪問診療

「多職種訪問チームによる訪問診療、在宅ターミナルケアの試み」

第42回、第47回 日本赤十字社医学会総会、第18回日本在宅医療研究会、第5回北信医学会等で発表。

当院では平成12年10月より医師、看護師、理学・作業療法士、薬剤師、MSWによる訪問チームを結成、訪問診療、在宅ターミナルケアを行ってきました。

- (1)訪問チームは訪問医師2名(兼務)、訪問看護師8名(内1名は訪問看護認定看護師)、理学療法士2名(兼務)、作業療法士1名(兼務)、薬剤師2名(兼務)、MSW2名で構成しています。
- (2)すべての訪問患者さんの主治医には訪問医師があたり、医師、看護師、理学・作業療法士、薬剤師がセットで訪問しています。週一回のケア・カンファレンスには医師を始め訪問チームメンバー全員と院内の通所リハ介護士、外部事業所のケアマネージャー、介護士、ヘルパーなど在宅医療・介護に携わる全員が参加し、情報の共有化をはかっています。
- (3)訪問看護は受持ち制で24時間365日対応、週1回～5回訪問しており、月に1～2回の主治医の訪問診療には受持ち看護師が必ず同行しています。理学・作業療法士による訪問は呼吸器リハを含め週1～3回で、ターミナルケアにも参加、また看護師との同行訪問によるOne-Upリハビリ、One-Up訪問看護も行っています。薬剤師による訪問は月に1～2回、服薬指導、副作用チェック、医師への処方助言とともに薬剤の宅配を行っています。
- (4)平成12年10月から平成27年1月末までの訪問患者総数925名、死亡患者数678名、内在宅死亡患者数325名(在宅死亡率47.9%)、ターミナルケアを行った末期癌患者数266名、内在宅死亡患者数156名(在宅死亡率58.6%)。
- (5)平成27年1月現在、訪問患者数90名、訪問看護557回/月、訪問リハビリ308回/月、訪問服薬指導80回/月でした。
- (6)多職種訪問チームによる訪問診療の利点
 - ①外部事業所のメンバーを含めた訪問チーム全員によるケア・カンファレンスを行っていることはもちろんチーム全員がワンフロアにいること、主治医はすべて訪問医師であることからメンバー同士の連携は密で、情報の共有化が容易で皆同じ思いで患者に接することができます。病棟のナースステーションのイメージです。
 - ②各職種あわせた全体の訪問回数が多く患者の状態把握、対応が迅速に行えます。
 - ③院内の元主治医、専門医、病棟との連携も良く急変時等の入退院に即対応できるなど、訪問診療、特に在宅ターミナルケアにおいて非常に有効です。
 - ④院外に自宅を病室とする100床の病棟があるイメージです。患者さん、介護者さんが安心して自宅療養ができ、ターミナルケアに充分対応できます。また、DPCによる在院日数の短縮への有効な対応策でもあります。
 - ⑤栄養士による訪問を含む院内NSTの在宅への拡大、口腔ケアの充実、在宅呼吸管理の強化等による在宅死亡率のさらなる向上が今後の課題です。

6. 研修方略

(1) 飯山赤十字病院、飯山赤十字訪問看護ステーション

- ・対象人口約 4 万人の当院において、救急外来(夜間も含む)、総合診療外来、一般健診、乳児 健診、妊婦検診、人間ドック、健康指導などに参加する。
- ・当院の在宅医療、在宅ターミナルケアに参加する。
- ・当院訪問看護ステーションを中心にした多職種訪問チームによる訪問診療に参加し在宅医療におけるチーム医療の重要性を体験する。

＜地域医療研修をされる初期研修医へお願い＞

①内科の紹介状を持たない初診患者の診療

当院の内科医が減ったため紹介状を持たない患者の受診をお断りしていた時期がありましたが、地域の病院としてすべての患者を受け入れることが必要なことから、現在「総合診療科外来」として紹介状を持たない患者を診療しています。主として検診で精査が必要とされた患者、発熱・腹痛など軽症患者が多いのですが、時に入院が必要な重症患者やCPAが来院することもあります。この「総合診療科外来」を週 1 回担当していただきたい。入院の必要がある患者は救急部(総合診療科)の医師(藤本 Dr.)に相談してください。バックアップは主として救急部(総合診療科)の医師、場合により石坂がしますので、わからないことがあればいつでも連絡ください。

②救急外来の当直(宿直)

週 1 回救急外来の当直(宿直)が経験できます。こちらは強制ではありません。任意です。

救急外来のファーストタッチをお願いします。バックアップの医師がいますので、診療内容の確認や指導をしてもらってください。

③研修に関する「感想」の記載

当研修の感想をA4 用紙 1 枚程度にまとめて提出をお願いします。

(2) へき地診療所(野沢温泉村市川診療所)

へき地における医療事情、診療所の役割を理解し診療する。(木曜日)

【研修スケジュール】

飯山赤十字病院、飯山赤十字訪問看護ステーション・へき地診療所・地域の診療所等、研修医の希望により、スケジュールを調整する。

[週間スケジュール]

	月	火	水	木	金	土・日
朝	訪問ミニカンファランス					自由時間 飯山を知ろう (観光や、地域のイベントに参加)
午前	一般内科 総合診療科	一般内科 総合診療科	一般内科 総合診療科	訪問研修 市川診療所 同行	一般内科 総合診療科	
午後	訪問カンファ ランス	訪問研修 訪問診療 同行	訪問研修 訪問診察* 同行	訪問研修 市川診療所 同行	訪問研修 訪問診察* 同行	
夕方					一週間の 振り返り	

- ※ 訪問診療研修には在宅ターミナルケアを含みます。時間外も含め随時同行してください。
- ※ 「総合診療科外来」「一般内科外来」を担当し、初診患者の診療を経験する。
- ※ 週1回程度、救急外来の当直(宿直)のファーストタッチを経験する。バックアップの医師に診療内容の確認や指導を受ける。
- ※ 希望により、ドック説明・指導、乳児健診、妊婦健診、なども可能です。

○ 臨床カンファレンスの開催

2ヶ月に1回、院内の研究発表、症例報告、治療手技の紹介などを中心に、地域医師会員、救急隊員、地域の介護関係者、当院職員を対象にしたカンファレンスを行っています。機会があれば参加しましょう。

○ 出前講座、地域住民への健康講演会

当院の医師、看護師、理学療法士などが地域へ出かけてお話しする出前講座。市町村などが主催する健康教室での講演などがあります。地域の方の生の声を聴ける機会ですので参加しましょう。

○ 介護認定審査会

広域行政組合で行われている介護認定審査会に委員を派遣しており、月一回は当院会議室で開催されていますので、介護度の認定がどう行われているか見学でき、介護保険について学べます。

7. その他

1) 宿泊施設

・研修医宿舎(テレビ、冷蔵庫、寝具、調理器具、食器つき、冷暖房完備)を用意しておりますので、そちらをご利用ください。(家賃・光熱水費も病院負担となっております。)

2) 事前連絡

研修開始2週間前までに、来院日時の予定や質問等を下記まで電話かメールにて連絡して下さい。

〔お問い合わせ・連絡先〕

飯山赤十字病院 総務課 宮崎

メールアドレス: soumu@iiyama.jrc.or.jp

電話: 0269(62) 4195 内線 2252

紀南病院(地域医療)

三重県南牟婁郡御浜町大字阿田和 4750

院長:須崎 真

1. 研修施設

紀南病院、地域の診療所 等

2. 研修期間:4 週間~3ヵ月(希望によりそれ以上も可能)

3. 研修時間:8:30~17:15

〔施設の紹介〕

紀南病院での地域医療研修は、指導医のもと実際に入院患者を受け持ち、診療、管理を行うことが中心です。外来診療(回数応相談)や救急患者の対応、希望に応じて消化器内視鏡、超音波検査、グラム染色検査等の研修も可能です。

院外研修では、地域の診療所での研修や無医地区への巡回診療、高齢者の健康相談、消防救急研修、訪問看護研修などを行います。その他、受け持ち患者の居住地を訪ねて患者の生活背景や文化を知るふるさと訪問プログラムや、定期的に行われる紀南地域の医療についてみんなで話会う「タウンミーティング」への参加など、地域と密着して、地域の皆さんと共に研修を行います。

4. 研修目標

- 1)地域を知る
- 2)地域に生きる人を知る
- 3)地域の医療を知る

5. 研修方略

- 1)指導医の下、病棟・救急研修、訪問看護研修、地域診療研修を行う
- 2)症例カンファレンスに参加する
- 3)ふるさと訪問やタウンミーティングに参加する
- 4)地域の観光やイベントに参加する

〔週間スケジュール例〕

※ 研修医自身の自由選択が可能

	月	火	水	木	金	土・日
朝	カンファレンス(新入院患者・退院患者紹介)					自由 地域を知る (観光や、 地域のイベ ントに参加)
午前	病棟・救急 研修	訪問看護 研修	地域診療所 研修	病棟・救急 研修	病棟・救急 研修	
午後	病棟・救急 研修	病棟研修	地域診療所 研修	ふるさと訪問	病棟・救急 研修	
夕方		症例 カンファレンス	救急研修	タウンミー ティング等	一週間の 振り返り (ランチョン ミーティング)	

※希望により、消化器内視鏡検査、超音波検査実習、グラム染色研修が可能

※最終週に研修発表会で発表あり

〔サークルやイベント活動〕

サークル活動として、サッカー、バスケット、陸上、スキューバダイビング、熊野古道散策会、コーラスなどがあります。イベントとしては、病院前七里御浜海岸での地引網大会や、バーベキュー大会、院内コンサートやボーリング大会、地域のイベント駅伝大会の参加など一年を通じてたくさん企画しております。積極的に参加し、職員や地域住民と交流や親睦を深めて下さい。



熊野古道散策会



熊野駅伝へ参加



クリスマスコンサート



ダイビング

6. その他

1) 宿泊施設

医師宿舎を利用させていただきます。

2) 事前連絡

研修開始2週間前までに、来院日時の予定や質問等を電話かメールにて連絡して下さい。

〔お問い合わせ・連絡先〕

紀南病院 総務課 清水

電話:05979-2-1333

メール shomu2@kinan-hp-mie.jp

鳥羽市立神島診療所(離島診療所)

鳥羽市神島町 85-2

1. 研修施設: 鳥羽市立神島診療所

2. 研修期間: 2 日間

3. 研修目標

- 1) 地域を知る
- 2) 地域に住む人達を知る
- 3) 地域での医療を知る

4. 研修方略

上記を達成するために、以下に掲げる項目について研修期間内にできるだけたくさん習得できるようにする。

1) 地域を知るためには？

- ・神島の地理・地形・へき地の程度を知る
 - 神島の地図から、島の大きさ地形を理解する
 - 神島内を隈無く歩き、島の大きさ地形を実感する
 - 市営定期船に乗ることによって、神島のへき地の程度(離島)を実感する
- ・神島の産業(漁業)を知る
 - 毎日行われているせり(市場)を見学して、漁獲内容を知る
 - 漁船を見学して、漁の方法・内容を理解する
 - 陸上での作業(網の修復・次の日の準備)を見て、その内容を理解する
 - 漁師の人達と話をし、漁業を理解する
- ・神島の気候を知る
 - 日々の天気図を見て天候の変化を理解し感じとる
 - 天候と漁業の関係を理解する
- ・神島の歴史を知る
 - 神島の祭について参考文献から学ぶ
 - 神島について記述された書籍を読む

2) 地域に住む人達を知るためには？

- ・できるだけたくさん島の住人と話をする
 - 診療所の待合室で患者さんと話をする
 - 町中をできるだけたくさん歩き回って、自ら話しかける
 - 宿舎・昼食場所で、従業員のの人達と話をする
 - 老人会に参加して、老人達の話聞く

3) 地域での医療を知るためには？

- ・診療所での診察を見学・実習する

- 医師の診療を見学して、一人ひとりの患者さんを理解する
- カルテを読んで診療内容を理解する
- 診療所の設備とその必要性を理解する
- 興味ある診療機器を使ってみる
- 待合室で患者さんと話をし、その背景を知る
- 問診、聴診、触診などの診療手技を適宜実習する
- 超音波診断、単純X線撮影、上部消化管内視鏡、耳鏡などを適宜実習する
- ・往診に同行する*
- ・救急患者搬送があれば、船・救急車に乗り搬送先まで同行する*
- ・学校医としての活動があれば同行して、見学・実習する*
- ・健康教室・大災害に備えるための研修などの保健予防活動があれば参加する*
- ・担当医師(指導医)から、様々な話を聞き出す

〔研修スケジュール〕

	午前	午後
1 日目	・午前 9 時診療開始 ・健康体操(毎週月・木)参加	・脳トレに参加 ・診療所での実習
2 日目	・診療所での実習	・帰宅

4. その他

- 1) 診療所での実習時間は午前 9 時～午後 12 時、午後 2 時～5 時とする。
- 2) 午後 12 時～2 時は、昼食および「地域を知る」「地域に住む人達を知る」時間とする。
- 3) 診療所での実習時間には、「地域を知る」「地域に住む人達を知る」ための時間を含む。
- 4) 可能であれば火曜日、金曜日の夜に NPO 施設で行われる高齢者との食事会に参加し、その後に振り返りを兼ねたプレゼンを行う。
- 5) *については、期間内にそのチャンスがあれば実施する。
- 6) 診療所内にある書籍・文献については自由に閲覧できる。
- 7) 神島滞在中の外来診察は適宜、行って頂く。
- 8) 診療所内には共有できるパソコンがあるが、プレゼンを行ってもらうことがあるため自分のパソコン持参が望ましい。
- 9) 服装は特に指定しないが、診療所内では白衣着用のほうが患者さんの理解は得やすい。
- 10) 週に 1 日、指導医が研修で島の外に出るためその日は各自自由にすごしてもらう。
しかし緊急があった場合は診療所の看護師と共に診療にあたってもらう。
- 11) 地域を知る目的で、海に入りたいときにはその準備(水着など)をしてくること。
- 12) 可能であれば、三島由紀夫‘潮騒’を事前に読み、予習をしてくること。

〔連絡先〕
神島診療所
TEL:0599-38-2033